

# Trimble SKY Controller Ver.1.0.3.0 アップデート概要

2016年4月  
株式会社 ニコン・トリンプル

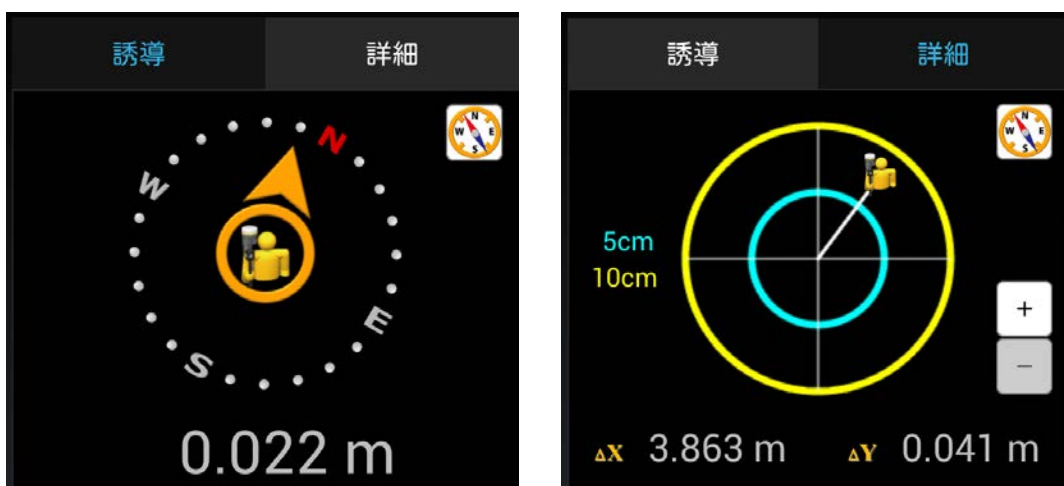
いつも弊社製品をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。  
本書では、Trimble SKY Controller Ver.1.0.3.0 で追加、変更された機能の概要を説明します。

## VRS/RTK 測設を追加

- ◆VRS 観測および RTK 移動局観測において測設誘導が行えるようになりました。
- ◆観測スタイル選択または、観測画面の機能メニューから測設を選択することで測設点選択画面が表示されます。測設点選択画面にて選択した点について測設誘導を開始します。



- ◆「誘導」タブは、自己位置を基準として測設点の方向と距離を表示します。また、「詳細」タブは、測設点を中心として自己位置から測設点までの $\Delta X$ 、 $\Delta Y$ 、方向を表示します。



- ◆REC ボタンをタップすると、現在地と測設点との較差が確認できます。確認後、測設点を「済み」に設定し、現在地を観測点として座標登録します。

## ■ 既知点整合計算を追加

- ◆VRS 観測の「単点観測」、「座標観測」で観測を行う際、座標入力もしくは SIMA ファイル入力により入力された成果座標既知点を基に座標変換が行えるようになりました。
- ◆観測スタイル選択または座標データの機能メニューから既知点整合計算設定の登録が可能です。

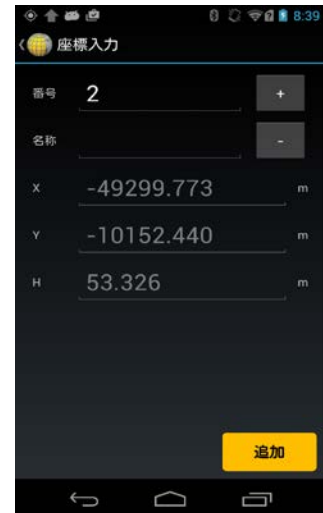


- ◆登録された既知点整合計算設定を「単点観測」、「座標観測」開始時に選択することで、座標変換が行われます。座標変換が行われている場合は、観測画面のタイトルに『+座標変換』が表示されます。



## ■ 座標リスト/座標入力を追加

- ◆観測点、測設点、整合既知点の座標について一覧での確認が行えるようになりました。また、手入力にて座標を追加することが可能となりました。



## ■ NMEA 出力設定を追加

- ◆受信機管理から NMEA 出力設定を行えるようになりました。通信設定、各フォーマットの出力インターバルを設定し、「開始」をタップすることで NMEA の出力が開始されます。



以上